



TAKEDA Smile

Web 配信 第15号

令和5年8月

武田中学校 高等学校
教育後援会・広報委員会

部活特集

吹奏楽部 第6回定期演奏会開催



6月10日、吹奏楽部の第6回定期演奏会が、せせらぎホールにて開催されました。当日は、約300人の観客の前に、19曲を披露。4月に入部した新入生も堂々と舞台上で演奏しました。

第Ⅲ部は、聴きなじみのある曲が多く、特にダンスメドレーがよかったとの言葉をたくさんいただきました。高3の娘が中1のときに第1回定期演奏会が開催され、あれから6年。毎年、進化していく定期演奏会をみて、今後とても楽しみです。皆様に助けられ、ここまで成長させていただきました。ありがとうございます。

これからも、武田中・高吹奏楽部を応援して下さい
広報委員 花之木貴子



茶華道部「わかば茶会」

令和5年6月4日(日) 爽やかな初夏を感じさせる晴天に恵まれた朝8時、広島空港近隣の三景園。

着付けのお手伝いをさせていただいたため、娘と母と3人で入園しました。

集合時間より少し早めに到着し、6年間一緒に続けてきたお友達と浴衣姿で園内を満喫する子どもたちの後ろ姿を見つめながら、これまで厳しく、丁寧にご指導いただいた顧問の先生方へ感謝を想い、数年ぶりとなる学校以外のお客様もおもてなしできるお茶会を前に静かなひとときを過ごしました。

着付けのお手伝いの時間はあっという間に過ぎ、同時にお茶会の準備も進み、お点前だけではなくお道具の紹介や足運びの所作の

確認など、お客様へのおもてなしの入念な準備も見ることができました。

多くの生徒の浴衣姿や男子生徒の凛々しい袴姿がとても華やかで見どころでした。

日本の伝統文化を感じた一日です。来年の6月初め、いつものように開催できますように…

広報委員 河上祥子



we are the zebras family 2023

この夏はとても暑い・熱い夏でしたね。
たくさんの感動をありがとうございます！！



最後の夏を終えて

武田高校野球部は平日の19時から21時まで特学がある為、部活時間は約50分しかありません。他にも英検取得など野球部全体で、勉強と野球の両立をしながら、このような環境でも勝ち上がっていきけるよう、先生をはじめ部員も工夫して練習に取り組んでいます。

梅雨も終盤の7月8日、三年生にとっては、最後の大会、第105回全国高校野球選手権記念広島大会が開幕しました。

1回戦、2回戦と順調に勝ち進み、迎えた3回戦。相手は去年広陵を倒した英数学館。3点リードで迎えた最終回、2点差に詰め寄られ、ツーアウト満塁のピンチでしたが、接戦をものにし、4回戦に進む事が出来ました。

4回戦の相手は強豪広島商業、1-11で敗戦となり、ベスト8入りは出来ませんでした。昨年から吹奏楽部の応援も出来るようになり、今年も1回戦から、吹奏楽部の皆さんには、大変暑い中、演奏して頂き、ありがとうございました。

スタンドの応援も大いに盛り上がり、保護者も我を忘れる程、応援する事が出来ました。

野球部全員で喜び、悔し涙した今年の夏は終わってしまいましたが、今後とも武田高校野球部の応援、宜しくお願いいたします。

岡寄監督をはじめ、先生方、コーチの方には、情熱を持って指導して頂きありがとうございました。子どもたちは最後まで高校野球を頑張る事ができ、野球だけではなく、人としても大きく成長する事ができました。

最後に、野球を始め、野球を続けてくれた子どもたちのおかげで、保護者もたくさんの人と巡り合い、一緒に応援し、喜んだり、感動したり、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

本当にありがとう。

武田高校野球部保護者会長 小林功欣



高校3年生の皆さん、
おつかれ様でした。



ホストファミリー特集

ホストファミリー体験 ヒルズグラマー Rishon くん

7/5から7/11までヒルズグラマースクールからのホストファミリーとして、我が家にリションくんが来てくれました。

1週間のホームステイ受け入れは、正直、始まる前は長いと思っていました。しかし、終わると、あっという間で、しばらくすると夢だったのかなと思うほど非現実的な体験でした。そのような貴重な体験は子どもだけではなく、家族にとっても知見が広がるものでした。

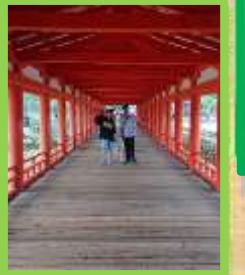
ホームステイでは、お互いに文化の違い、言語の違いを直に実感し、共に理解し合いながら生活しました。

私の娘は、一人っ子で、リションくんのことを兄のようだと言っていました。また、コミュニケーションは英語でも中学レベルの単語で取れることもわかりました。語学の壁は確かにありますが、一緒に生活することで打ち解け合えたところもあります。例えば、お互いに音楽が好きで、ギターと歌で楽しむこともできました。

一緒に食事をしたり、家族の写真を見せてくれたり、同じ空間を過ごすことで沢山通じ合えたと思います。

これからも、この経験を生かし、国境を越えて、文化、歴史を知り、様々な人と出会い、繋がって欲しいです。

広報委員 藤猪友里



わが家に留学生がやってきました！

1月に修学旅行でホームステイをさせていただいた女の子です。オーストラリアのお宅は各部屋にシャワーとトイレがついている大豪邸！床は大理石、大きなお庭に大きなプールがあり、とても素敵だったそうです。正直私はビビっていました。どうしよう・・・どこに寝てもらおう・・・食事は何にしよう・・・と不安しかありませんでした。彼女が来る5日前に、彼女のご家族も広島に来られることを知り、英語が一切話せない私は、一寸たりともそのことが離れないくらい不安でした。でも実際にお会いすると、と～っても素敵なお家族で、終始 Google 翻訳をつかって楽しくお話をさせて頂き、別れ際には必ず再会するとお約束しました。

ホームステイ生活は、毎日が楽しすぎて、毎晩夜更かしをしてお話をしました。J-POP やアニメ・学校生活など、話がつきません。英語がカタコトしか話せない私たちですが、コミュニケーションは言葉だけではないように感じました。

和太鼓体験や宮島観光・ショッピングなどを楽しみましたが、まだまだ一緒にやりたいことがあふれ出て・・・最終日は全員が寝不足でした。

素敵な出会いと経験をさせて頂き、感謝致します。

広報委員 岡田こずえ



第33回 教育フォーラム

令和5年7月20日（木） 広島県民文化センターホール

講演：思春期の子どもが抱えるこころの問題と親に求められる関わり

講師：比治山大学現代文化部社会臨床心理学科講師 吉良 悠吾先生

今回の講演は、小児科クリニックの心理士として長年勤務されてきた先生からの警鐘とも言えるお話でした。

思春期は、認知発達が進むことで心理面でも大きく成長し、親離れが進み、仲間との関係性がより深いものになり、その中で心理社会的問題も出現しやすくなるそうです。思春期は、うつ病の好発期とも言われており、精神疾患の初発症は10代～20代前半に集中しているそうです。見逃されると長期的に問題が持続してしまうそうなので、少しでも早くその問題に私たち親が気づけるようにと、知識の種を授けてくださいました。

まず、思春期である児童青年の抑うつは、見逃されやすいこと。抑うつ気分の表現が、思春期の行動と似ているため、それが重大な問題と直結しているにもかかわらず、間違われやすいそうです。

児童青年と成人の特徴の違い	
児童青年	成人
抑うつ気分 →イライラとして出現しやすい	抑うつ気分 →気分の落ち込み
中核症状として 興味意欲の減退が主に出現	中核症状として 抑うつ気分が主に出現
環境の影響が大きい	環境の影響が少ない
食欲増進・体重増加	食欲不振・体重減少
過眠	不眠

今、日本では、子どもたちの自殺が大きな課題になっています。

小中高生の死亡原因の1位が自殺、2位の事故よりも3倍の多さです。学習意欲の低下や登校数の減少、友人とのトラブルの増加や交流の減少などは、後の不登校と密接に関連しています。「怠け」ととられがちなことでも、実は深刻な問題が隠れている可能性があります。

そのような変化に早く気づき、少しの気遣いで救える命があるのも事実だということから、子どもたちを取り囲む私たち大人の対応がいかに重要かということがわかります。子どもの問題行動は、子どもからの「SOS」です。小さな変化を見逃さないためにも、子どもの状態に目を配り、学校と家庭でタッグを組んで、問題がより大きくなる前に、子どもたちのこころを救う大人でありたいものです。また親も、自分や子どもを責めないためにも、勝手に作った普通や当たり前に苦しまないようにしなくてははいけません。学校で健やかに過ごせることは幸せであって、当たり前ではないのです。

思春期に入ると、親子の関係性は変化していきます。

小さな頃は、手をつないで並んで歩いていましたが、今は親が半歩下がって、子どもに前を歩かせ見守っていくことにシフトチェンジしていくとき。成長とこころの病気の違いや対応は、難しいことがいっぱいですが、思春期の子どもにとって、家族は最初の支援者です。いかなるときでも、目ところは常に子どもたちに寄り添ってほしいですね。

たとえ我が子がこころの問題を抱えてなくても、今回いただいた種を自分の中で大切に育て、学校や地域の子どもたちに少しでも役立てるようにしたいと思えた、気づきに感謝する講演でした。

教育後援会副会長 岡本妙子



今年の夏は皆さんにとって、どのような夏でしたか？
武田は、夏の暑さを吹き飛ばすような話題が盛りだくさんでしたね。たくさんの方に触れ、青春を満喫してほしいものです。そして、たくましい心、豊かな想像力、情熱で、9月の武田祭を盛り上げてほしいです。
私も負けずに心はいつまでも若くありたいと思います。

広報委員長 花之木 貴子